

令和3年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ICT 機器を効果的に活用し、児童の関心・意欲を高めることができた。
- 資料などから読み取ったことをまとめ、自分の考えを発表する機会を多く設定できた。



(2) 課題

- 社会に対する関心をより高めるための、体験活動や見学などの機会があまり設定できなかった。
- 小テストの実施や新聞作りなどの活動を通して、学んだことをさらに定着させる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率（同一集団の経年変化）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を大きく下回る「くらしの移り変わり」に課題がある。 		
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> 目標値をやや下回る。「ごみのしよりと活用」「先人の働き」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値をわずかに下回る。「地域や市の様子」「安全を守る活動」に課題がある。 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 目標値にやや下回る。「日本の国土と人々のくらし」「工業生産と貿易」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値をわずかに上回るが、「安全なくらし」「地図の見方」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値をわずかに上回るが、「生産や販売」に課題がある。

(2) 令和3年度の結果分析（観点別）

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 「工場の様子」「市の様子」での資料の読み取りに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 年表の読み取りと、記述問題の資料を関連付ける問題が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 記述問題になると、目標値から落ちる。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 「都道府県の様子」「くらしをさせる水」を苦手とする。（5年） 「日本の国土と人々のくらし」「工業生産と工業地域」を苦手とする。（6年） 	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみのしよりと利用」「先人の働き」を苦手とする。（5年） 「自動車をつくる工業」「自然環境と国民生活」を苦手とする。（6年） 	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみのしよりと利用」「地図の見方」を苦手とする（5年） 「自然環境と国民生活」「工業生産と貿易」を苦手とする。（6年）

3 授業改善のポイント

・ 中学年



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図記号や地図の読み取り方など学んだことが知識として定着するように小テストなどを繰り返し実施する。(3年) ・ 資料の読み取りが定着するように、資料から分かったことをノートやワークシートにまとめていく。(4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自分の考えをまとめやすく、分かりやすく発表ができるように、地図や写真などの提示資料を精選する。(3年) ・ 資料を読み取ったことに自分の考察を加えて自分の言葉で表現したり、自分の考えをグループや全体で発表したりする機会を設ける。(4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験活動や見学ができない内容について、ICT 機器を効果的に活用し、児童の関心・意欲を高める。(3年) ・ 日常生活の事象に対して学習する機会を増やしたり、CT 機器を効果的に活用したりして、児童の関心・意欲を高める。(4年)

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の単元のまとめのページやミニテストなどのプリントを活用しながら、社会的用語を理解していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアや小グループでの意見交換、話し合いを通して、自分の考えとの差異を見つけ、様々な視点から物事を考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史の学習では、過去のことと捉えずに、どの時代も現代の暮らしと結びつけながら学習していけるよう工夫する。